

長崎もり通信



▲福岡県立四王寺県民の森にて

森林ボランティア団体県外交流会を開催
～福岡県を視察しました～

**1 2026
No.098**

第2回技術研修会
～長崎大学森林ボランティアフィールドワーク～

森のキセキ「ワンヘルス」
～森林が持つ力～



森林ボランティア団体県外交流会を開催

令和7年12月13日（土）、福岡県にて県外交流会を行いました。森林ボランティア団体の皆さまと視察したのは福岡県立四王寺県民の森の「ワンヘルスの森」、八女市の「立花バンブー株」です。

まず訪れた福岡県民の森では、今注目されている「ワンヘルス」体験をしました。福岡県では、全国的に珍しい「ワンヘルス」の考え方（人、動物、環境のそれぞれが生態系の中で相互に密接につながり、支えあっていること）にもとづいた森づくりと、森林散策ガイドを行っています。

342haにおよぶ敷地には大野城跡や岩屋城跡、江戸時代に建立された三十三ヶ所石仏など史跡にも恵まれており、四王子の歴史を感じながらワンヘルスの森を体験しました。3班に分かれての散策はそれぞれガイドの方が説明をしてくださり、普段は樹木に目が行きがちな私たちですが、生物や植物、水源や土壌など幅広い視野で森を感じることができ、山での作業に慣れている団体の皆さんも楽しんで体験することができました。



高床式作りのミュージアム



2.5kmのコースを体験

次に訪れた立花バンブーさんは、地元で採れる豊富な竹を利用して、竹炭や竹酢、竹チップなどを製造している企業です。

入荷する竹材は竹林整備等で伐採されたものを地域の方などから購入し、加工しているそうで、工場の隣に積み上げられた竹材を見ると、広大な面積の竹林が整備されたことが想像でき、放置竹林の解消と資源循環を両立した取組は大変参考になり、また、理想的なものでもありました。

今回は小雨の降る中での開催でしたが、参加した皆さんからは見識が広がったと感想をいただき、実りのある交流会となりました。

ご協力いただきました福岡県民の森ワンヘルスガイドの皆様、立花バンブー(株)の皆様ありがとうございました。



令和6年度に入荷した竹材は約1,400t



連続回転方式の炭化炉を見学

第2回技術研修会

“長崎大学森林ボランティアフィールドワーク”

令和7年11月15日、日吉自然の家にて竹林整備技術研修会を行いました。今回の技術研修会は普段自然にふれる機会の少ない大学生に、森林ボランティアフィールドワークとして、整備活動の意義や森林について知ってもらうため毎年行っています。今年も長崎大学環境科学部の1年生6名と先生、計7名が参加をしてくれました。



竹林整備実習の様子



竹割り体験



枯竹で火を熾しうどんを茹でました

放置竹林の活用方法、竹林整備の目的、竹林荒廃のメカニズム、竹林の現状、かつての竹の活用方法と衰退について話を行い、竹林整備についてイメージをしてもらい現場に入りました。

枯れて倒れた竹を手ノコで玉切りし、一か所に竹を集積していく中で、参加者は竹林の現状や整備の重要性について考えを巡らせていました。竹を運ぶ際に、根元の方から引っ張ることや目に刺さる可能性のある枝を切ってから作業をすることなど、安全作業についても知ってもらうことができたようです。作業が終わった後は参加者全員で竹割りをした枯竹で湯を沸かし、うどんを作って食べました。晴れていたとはいえ気温が低かった当日、温かいうどんで疲れが癒されました。

活動後のアンケートでは、「竹林の現状や整備の意義、重要性について知ることができた。」

「また機会があれば参加したい。」などの声が聞かれ、楽しみつつも問題意識をもって活動をしてもらえたようです。

竹を切ったり運んだりするのは体をたくさん使う作業ですが、その分綺麗になった竹林を見た時の達成感も大きいです。長崎大学の学生だけではなく、もっと多くの方々に竹林整備の重要性や楽しさを知ってほしいと思います。

森林での作業や活動は、体力も気力も必要な仕事です。それでも活動を終えた後、思ったよりも疲れていないと感じることがあります。身体は疲れているのにどこかすがすがしい気持ちで、心地よい疲れです。そんな感覚を覚えるたびに、森林が持つ力を感じます。

森林の中では、自律神経を整え、ストレスを軽減する事は多くの研究でも示されています。こうした、森が人に与える健康効果は、「ワンヘルス」という考え方と深くつながっています。

ワンヘルスは、「人の健康」「動物の健康」「自然環境（森林）の健全」は一つにつながっているという考え方です。どれかひとつが崩れると、他にも影響が広がります。特に森林などの自然環境は重要な役割を果たしていて、手入れが行き届いた森は風通しがよくなり、暑さや湿気等による身体への負担をやわらげてくれます。さらに、水源涵養の機能を持ち私たちの暮らしを守っています。森林整備は、自然を守るだけではなく地域の健康も支えてくれるので

また、健全な森林は野生動物との距離感を保ってくれる役割も果たしてくれます。手入れが追い付かず森が荒れると、動物が餌を求めて人の生活圏に近づき、思わぬ事故や病気のリスクが高まります。逆に適切に手入れがされた森林は動物の行動圏を安定させ、人との距離を保つことにつながります。森林を良い状態に保つことは、動物を守り、結果として人の健康も守る行為なのです。

木を伐ることも、植えることも、森の道を整備することもすべてが、人・動物・環境を守る一つの循環につながっています。これからも、森林を守り、整え、受け継ぎながら地域の健康を守ることが必要です。



ワンヘルスの森体験

センターからのお知らせ

新年明けましておめでとうございます。皆さま森林ボランティア活動、大変お疲れ様でした。県内の森林整備は、皆さまや関係者の取り組みにより進んでいます。本年も多くの方に参加いただけけるよう、情報発信やイベントに努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

センターのHPページは→

